

# 市民の身近な相談相手

# 手稲区民の要求実現へ全力

## 市政報告懇談会で沢山の要望が

年4回の定例市議会ごとに行っている地域での市政報告懇談会では、いつも要望がいっぱい出されます。「ごみステーションが汚い」「枝、葉、草の収集回数を増やし、12月まで延長を」「老人福祉センターのお風呂代を取らないで」等々…。議会に届け改善を求めてきました。



質問する井上ひさ子議員

一日二時間程度の配置になっていくのは問題と指摘し、「当該学級に対して、授業中は配置すべき」と求めています。



## 小中学校の特別支援教員増員を

学習や行動に軽度の障害がある子どもたちの学校生活を支える特別支援教員が、「一校に一人で、一日二時間程度の配置になっていくのは問題と指摘し、「当該学級に対して、授業中は配置すべき」と求めています。

## 待機児童と超過入所なくする 保育所増設計画作らせた

日本共産党  
市議会議員

井上ひさ子

## JR星置駅通路の エレベーターが喜ばれています

地域住民の方々と設置の運動をしていたJR星置駅通路のエレベーターが4月に完成しました。利用している住民から、「こんなに早く実現できてよかった」「通院や買い物、銀行へ行きやすくなった」「ありがとう」など、喜びと感謝の声が寄せられています。



くらし、市政の相談は  
**井上ひさ子 市政事務所**

〒006-0814 手稲区前田4条11丁目9-25  
TEL. 684-4533 FAX. 684-4534

切実な要求受けとめて

# 安心してくらしらせる街づくりを

札幌市議会議員

## 伊藤りち子

日本共産党



右折信号や歩道の設置など

### 住民の要望きき尽力

一昨年の12月、平和通りから北13条通りにかけてJR線上の高架橋ができました。

それにもない交通量も増え、北13条通りと北郷通りの交差点に右折信号をと「信号設置を求める住民の会」とともに運動を進めてきました。



道警に要望 右が伊藤市議

「会」では、11月17日に、党道議団の協力を得て、伊藤りち子市議と一緒に道警に申し入れを行い、請願署名を提出しました。その後、この1月に北郷通り側に矢印の右折信号が設置されることになったと連絡がありました。みなさんと一緒に運動してきたことが実現した取り組みです。

失業・住居の緊急対策

### 臨時宿泊所増設を

厳しい経済状況の中で、失業率と有効求人倍率が史上最悪の水準を記録しています。

伊藤市議は、仕事も住居もない人の緊急的な対応が必要になって



菊水元町アンダーパス上を調査する伊藤市議と地域の住民の皆さん 要望で09年に歩道が設置されました

いると指摘し、厚生労働省が出した通達「緊急一時宿泊事業を実施する場合は、補助金の対象とする」を活用すべきと求めました。その後、札幌市では、国の補助金を活用してビジネスホテルに5室を確保し、さらに広げる検討もしています。

だれもが大切にされる  
政治に変えたい

## 願いによりそい 生活相談

ある20代の青年は、各地を転々として派遣などで仕事をつないできましたが、仕事につけなくなり野宿をしていました。

また、40代50代の働き盛りの方も仕事が見つからず、家賃の滞納が何ヶ月間か続いて、大家さんが心配して付き添って事務所に相談に来ました。いずれの方も、現在は市の制度を活用しながら元気に仕事探しをしています。

一人で悩まずに事務所に  
相談に来てください。

くらし、市政の相談は

伊藤りち子市政事務所

〒003-0833 白石区平和通3丁目北5-1

☎ 011-864-2580 ㊚ 011-864-2581

# 東区民の要望実現へ全力

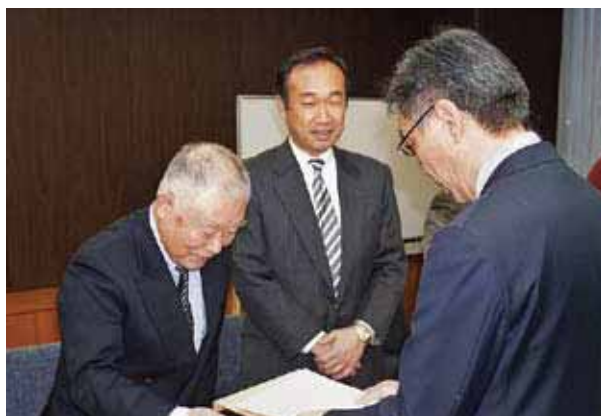


日本共産党  
市議会議員  
宮川じゅん

## 保育所を増やすように

札幌市の保育所不足は深刻で、昨年十月一日現在、保育所に入りきれず順番待ちをしている子どもは千六百五十五人、他に超過入所が千九百五十三人になっています。

市は、今後五年間で三千五百人分増やす計画ですが、宮川市議は、「それでは保育所不足を解消できない。さらに、計画の上乗せが必要。まず新年度に千五百人以上の保育所を増やし、待機児童と超過入所を解消すべき」と求めています。



市営住宅の住民と市に申入れる宮川市議

## 除雪体制を維持するよう支援を

宮川市議は、市の除雪業者が二百五十社から百九十五社に減っている現状を指摘。「夏場の仕事が激減し、中小建設業は生きるだけでも大変。生活道路の整備などを増やすとともに、除雪の待機人件費など委託費を



質問する宮川市議

引き上げることが必要だ」と繰り返し求めています。

二〇〇八年十月

グレーダーやタイヤショベルなどの機械は、市が購入して貸し出す官貸車を増やすよう求めました。

市は、国庫補助枠の拡大も働きかけ、機種の拡大も含めて協議すると答えました。

二〇〇九年三月

生活道路の整備が、市民に喜ばれ、除雪業者の支援にもなると促進を求めました。

市は、優先的に予算をつけること答えました。

二〇〇九年十月

除雪業者の除雪単価引き上げと除雪作業待機者の人件費を札幌独自の参入方式にするよう求めました。

## 都市型農業と食の安全を守れ

宮川市議は、「日米FTA交渉に反対する意見書」を提出するなど、農業振興と安全な食料を守るために、奮闘しています。

二〇〇九年三月

都市農業の発展のため、農地の保全策強化と市民農園の増設、農政予算と人員増を求めました。

市は、都市型農業の発展は重要で、今後の予算も考えると答えました。

二〇〇九年十月

農地法の改定で企業が一方的に参入・撤退し、家族経営の農家を圧迫し、農地を荒らすことがないよう、対処を求めました。

市は、関係機関と協力して対処したいと答えました。



札幌駅前市民に訴える宮川市議

くらし、市政の相談は

宮川じゅん市政事務所

〒007-0806

札幌市東区東苗穂6条2丁目手塚ビル2F

☎783-5466 FAX783-8381

# 村上ひとし

日本共産党

札幌市議会議員



地域の声をもとに議会で質問

週5日の駅頭で市政報告、  
議会ごと市政報告会も各地域で開催、  
暮らしと経営を守り抜きます



議会ごとに市政報告会を開催



区民と共にふれあい祭りに参加

## ●ステーションの助成拡大

アパートやマンションの敷地内に箱型ごみステーションを新たに設置した場合、ステーションへの助成をすべきと求め、昨年12月より拡大しました。

## ●可動式ホーム柵設置

粘り強く求めてきた可動式ホーム柵が地下鉄東西線全ての駅に設置されました。障がい者の方やお年寄り、子ども連れの方から大変喜ばれています。

## ●負担の軽減

介護保険の福祉用具購入や住宅改修工事には、利用者はかかった費用の1割だけを支払い、残りの9割は事業者が直接市から受け取ることができる受領委任払い制度の実施を求めました

—— 暮らしと市政のご相談は ——

《村上ひとし市政事務所》

厚別区厚別南2丁目6-2  
電話894-4641 FAX895-1135

# 一人ひとりの暮らしと

## 平和を守る先頭に！



# 区民の願い届け ひたむきに

日本共産党  
市議会議員

## 坂本きょう子

### 区民とともに行動！

北区役所との交渉は、今年で十二回となります。

毎回、区民の生の声を直接、区長に要望し、この一年間だけでも麻生交差点の点字ブロックの補修、地下鉄北二十四条駅の駐輪場の整備、拓北の右折信号機設置や踏切の新設、JRあいのり



区民とともに区役所交渉

の里公園駅の階段手すり設置などが実現しました。



市議会本会議で代表質問

### 子育て支援の前進を！

待機児童・超過入所の子どものための保育所増設、共同学童保育所への補助拡大、ヒブワクチン（細菌性髄膜炎）への公

費助成を求めました。

また、市立大学の授業料が国立大学にならない、高すぎるとして、学生・保護者への配慮、教育の機会均等が守られないと厳しく指摘しました。

### 市民負担の軽減を！

家庭ごみの有料化で市民の負担増が強いられており、指定袋の値下げや減免対策の拡充と



街頭で市民に訴え

もに、ごみカレンダーの改善も求めました。

### 若者の雇用を守れ！

市みずからが、来春の高校新卒者を雇用し、市教委も求人開拓に力を注ぐよう求めました。



メーデー行進の先頭に

くらし・市政の相談は

**坂本きょう子**

市政事務所へ

〒001-0023 北区北23条西3丁目2-55

TEL 738-9550 FAX 738-9551